

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能を反映するため、企業・業界関係団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を行う。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 上記基本方針に則り、校長の下に教育課程編成委員会を置き、全学科の教科構成について、実務における重要事項が該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。指摘を受けた内容について、各学科にて詳細検討を行い、改善項目を校長に報告する。校長は教育課程編成委員会委員にその旨を伝達する。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
2022年4月1日現在			
	名前	所属	任期
	坂本 敏	中央動物専門学校 校長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	佐藤 洋子	中央動物専門学校 教務部長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	渡来 純如	中央動物専門学校 教員室長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	上野 弘道	公益社団法人日本動物病院協会(JAHA)専務理事	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	長谷川 龍太	株式会社AHB 取締役営業本部長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	對馬 由希子	株式会社トリーメイト 営業部 トリミング部門 主任	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	笹井 利浩	北千束動物病院 院長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	溝口 健太	ワラビー動物病院グループ 取締役事務長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	高橋 三行	社会福祉法人 泉陽会 新町光陽苑 施設長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	榎本 修	株式会社セラフ榎本 代表取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)
	※委員の種類の欄には、委員の種類のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員		
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 年2回 6月・1月 (開催日時) 第1回 2022年6月14日(火) 13:30～14:30 第2回 2023年1月17日(火) 14:00～15:20			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 教育課程編成委員会より出された意見は、翌年度の教科構成に反映させる。 ・アフターコロナで世の中が動き出した今、様々な変化に対応した企業運営が大きなトピックスになっている。企業においてはWithコロナにより、オンラインミーティングや出張費削減等でメリットもあったが、昨年の新卒社員はオンライン授業を受けていたこともあり、人と接触する機会が少なかったことで、入社してからのコミュニケーション能力不足によるトラブルでの離職増が懸念され、今後対応が必要となってくると思われる。 ⇒本校では軽井沢研修所にて合宿研修を行い、団体での行動指針やマナー研修をしていたが、コロナ禍により実施できていない。オンライン授業については、現在はほとんど行わず対面授業となっている。 ・利他の心を大切に業務を遂行しているが、本校の教育方針の一つである「優しい心」は、正しく共感し得るところである。 ・三世代同居の家庭で教育された子供は、祖父母とのふれあいの中で、優しい子になる傾向にあるため、率先して採用している。学校でも引き続き学生のコミュニケーション能力の育成に努めてもらいたい。 ・企業では「犬の譲渡」ではなく「パートナードッグ」という取り組みを始めている。本校でもご理解いただければ是非お願いしたい。 ⇒学内の中で検討し、またご相談させていただきます。 令和6年度については、令和6年1月開催の第2回同委員会の結果を鑑みて、教科構成の必要な修正を行うものとする。			
2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 実習・演習等は専門学校教育の根幹をなす重要なものである。よって、常に最新の技術を指導する必要がある、そのために学校と企業等が密接に連携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。 連携を行う企業とは、職業教育協定書(教育事業受託契約書)を取り交わし、契約の趣旨に則り実践的な職業教育を行うものとする。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 上記基本方針に則り、次の項目について連携を行う。 ①カリキュラムの作成 ②講義及び実習の実施 ③講義・実習教材の作成 ④成績評価及び進級審議等に関する助言 ⑤その他の実習運営上に必要となる事項			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
	科目名	科目概要	連携企業等
	一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	株式会社ラ・データ
	販売小売学	小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧客心理などの基礎知識を学ぶ。	イー・マネージ・コンサルティング協同組合
	経営学	経営という名の経験論を学び、同時にその必要性、有利性も学び、実務に役立てる。	イー・マネージ・コンサルティング協同組合
	企業研究	さまざまな商品知識や接客態度を幅広く学び、ショップでの作業やお客様へのアドバイスがスムーズに行えるよう学習する。	株式会社スタンダード
	POPデザイン演習《必修選択一般科目》	POP広告の目的や役割を学び、POP広告クリエイターの資格取得を目指す。	一般社団法人公開経営指導協会

<p>3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p>
<p>(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 「教員等の研修に関する規程」により、本校の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業等と連携の上で、高度化、多様化する理論及び新技術等について研修に努めなければならない。 校長は、教育職にある者に対し、教員の業務経験や能力を勘案し、日常の業務を通じて必要な研修を命令する。また、事前に計画し、校長に承認を得た者は企業と連携した研修を認めている。</p>
<p>(2)研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「教職員研修会」(連携企業等:一般社団法人全国動物専門学校協会) 期間:令和4年8月 対象:全教員 内容:全国動物専門学校協会における検定関連の確認、意見交換</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「教授力向上研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会) 期間:令和4年7月29日・令和4年8月4日 対象:担当教員 内容:教員としての資質向上、及び教授力向上を目的とする。</p>
<p>研修名「インストラクショナルデザイン研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会) 期間:令和4年8月2日・5日 対象:担当教員 内容:教員としての資質向上のため、授業設計方法を習得する</p>
<p>(3)研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「教職員研修会」(連携企業等:一般社団法人全国動物専門学校協会) 期間:令和5年8月 対象:全教員 内容:全国動物専門学校協会における検定関連の確認、意見交換</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「教授力向上研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会) 期間:令和5年8月 対象:担当教員 内容:教員としての資質向上、及び教授力向上を目的とする。</p>
<p>研修名「インストラクショナルデザイン研修」(連携企業等:専門学校コンソーシアムTokyo教育の会) 期間:令和5年8月 対象:担当教員 内容:教員としての資質向上のため、授業設計方法を習得する</p>

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、中央動物専門学校運営指針に則り自己評価を実施する。
 実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。
 また、卒業生・企業・業界団体等の学校関係者を選任し、自己評価結果についての改善に向けた専門的な助言を受け、組織的・継続的な改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか
(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教育活動	①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
(4)教育成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5)学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥保護者と適切に連携しているか
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の募集と受け入れ	①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか ④学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適性に行われているか ④財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護の為に適切な対策がとられているか ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ④自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流(留学生)	①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか ②留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- ①(2)学校運営の2-3の項目において、地域・近隣等からの苦情(クレーム)の現況についてお伺いしたい。⇒コロナ対策による換気のため、窓を開放し実習を行ったことによる校有犬の鳴き声等の騒音や、学生が校有犬散歩時に発する騒音についてクレームがあったが、その都度迅速に対応し改善を図っている。
- ②(7)学生の募集の受け入れについて、入学希望者は各種説明会に参加し入学を決めていると思うが、なぜミスマッチが起きてしまうのか。⇒学生募集活動においては、入学希望者へ丁寧な説明を行っており、本人、保護者とも納得の上で入学していると思われる。進路変更が主な退学理由ではあるが、専門学校レベルは上がってきており、誰もが卒業できるわけではなく授業についていけないという理由での退学者もいる。
- ③評価は適切と判断する。卒業生の保護者として、娘は本校を卒業したことを誇りに思っており、卒業生の声や先生方の取り組みがあって、学生数の増加に繋がっていると思われる。
- ④評価は適切と判断する。各企業、店舗等において、本校の卒業生はスタッフからの評判が良く評価も高い。挨拶等の基本的な習慣がしっかり身につけており、学校でよく指導をされていると思う。
- ⑤店舗では猫関連の問い合わせが増えているため、運営計画の猫実習の充実化にはぜひ取り組んでいただきたい。
- ⑥動物病院において、本校の卒業生の仕事に対する意気込みが強く感じられる。そのような人材を採用でき感謝している。
- ⑦これから動物看護師の資格が大きく変わるタイミングでもあり、その技術が今後の動物病院運営に大きく関わってくる部分でもあるため本校への期待は大きい。
- ⑧(3)教育活動の3-6の項目において、充実した環境が整っているwebセミナーの活用を提案する。教員には自らの技術、能力を高め、外の環境を知る意味でも、一つの方法であると思われる。また、参加するだけでなく、報告書等の提出により教員評価の一助としてみてはどうか。
- ⑨(10)10-2社会貢献のボランティア活動については、学生には耳なじみがなく、あまり意識されていないと感じられる。時間が無く、情報も無い、触れる機会も無いため、ボランティア活動に対しての情報公開を学生の耳に触れるよう対応を検討していただきたい。
- ⑩評価は適切と判断する。動物看護師国家資格化の対応、動物愛護法改訂の対応、校有動物の対応については、学校全体で適切な対応を取られていると思う。動物看護師国家資格化に伴い、競合校や学科を新設する大学も増えているが、本校の学生の評価は非常に高いため、社会に出た卒業生達の評価も積極的に学生募集に活用するとよい。
- ⑪コロナ罹患後の後遺症に対するカウンセリングはされているか。⇒コロナに関連したカウンセリングの申し込みは今のところ来ておらず、家庭や学校生活における人間関係の悩み相談がほとんどである。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2022年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
新井富士雄	東田端自治会 顧問	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	近隣・地域
大野 公嗣	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 専務理事	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	業界団体
田中 淳	中央動物専門学校 卒業生	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	卒業生
岡崎 弘子	中央動物専門学校 保護者	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード オールペット事業部 取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	企業
飛高 健太郎	タロウ動物病院 院長	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	企業
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフソリューションズ 代表取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/school_official_evaluation_report.pdf 毎年10月上旬

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

概ねホームページで公開しているが、学校行事等に関しては適宜、ブログにて情報公開を行う。
特に関連する企業等及び外部講師に対しては、年度開始にあたり会議を開催し、その際、校長から学校概要・運営方針等を説明し、実務教育及び教員研修における連携依頼や学生の就職・研修先の紹介の依頼、様々な教育活動の情報公開も行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①教育理念
(2)各学科等の教育	①修業年限・定員
(3)教職員	①教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①実技・実習を中心とした職業教育への取り組み ②企業等と連携した校外実習(インターンシップ)
(5)様々な教育活動・教育環境	①教育施設の紹介 ②学校行事のスケジュール ③学校行事の報告 ④その他活動の報告
(6)学生の生活支援	①学生寮の紹介 ②資格取得支援 ③就職支援
(7)学生納付金・修学支援	①学費・諸費用 ②奨学金制度 ③学費減免制度
(8)学校の財務	①計算書類(資金収支・事業活動収支・貸借対照表・収益事業) ②監査報告書(監事・独立監査法人)
(9)学校評価	①自己評価・公表 ②学校関係者評価・公表
(10)国際連携の状況	①留学生の受け入れ ②留学生の学習支援
(11)その他	①校有動物の情報 ②校友会・同窓会の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ (URL:<https://www.chuo-a.ac.jp/index.html>)